

ナシのマシン油乳剤の樹上越冬害虫に対する防除効果

福島県農業総合センター果樹研究所
平成17年度果樹試験場試験成績書
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

果樹 - ナシ - 病害虫防除
分類コード 04-03-23220000

2 担当者

佐々木正剛

3 要旨

マシン油乳剤の休眠期防除は、本県のリンゴ、モモ、カキなどの果樹で広く普及しているが、ナシではまだ普及していない。その理由として、現地ほ場では、特に「豊水」にマシン油乳剤を散布した場合に、生育に悪影響を及ぼすこと、また、これまでハダニ類やカイガラムシ類などの樹上越冬害虫の発生が比較的少なかったことなどが考えられた。そこで、マシン油乳剤のナシ生育に及ぼす影響と越冬害虫に対する防除効果を検討した。

- (1) 3月下旬にマシン油乳剤(スプレーオイル30倍、ハーベストオイル50倍)をナシに散布した場合は、本県の主要品種である「豊水」、「幸水」、「二十世紀」において、発芽不良や開花不良、枝枯れなどの生育障害は認められなかった。
- (2) 本県のナシにおいてクワオオハダニの発生が初めて確認された。
- (3) ナシハマキワタムシの発生は「豊水」で多く、「幸水」や「二十世紀」で少ない傾向がみられた。
- (4) ナシの芽基部や粗皮などで卵越冬するアブラムシ類(ナシハマキワタムシ、ナシアブムシなど)およびハダニ類(クワオオハダニ、リンゴハダニなど)に対する防除効果が認められた。しかし、成虫越冬するナシキジラミに対する防除効果は認められなかった。
- (5) 以上のことから、発芽前の3月下旬にマシン油乳剤を散布してもナシの生育に及ぼす影響は少ないと判断された。ただし、樹勢の弱い樹に散布した場合には、枝枯れを助長するおそれがあるので使用しない。

4 その他の資料等